

2011年 暮らしの瓦版 9月号

自然は恐ろしい脅威を与えます。しかし同時に無限の慰めも与えてくれる。

日本は戦争に負けたとき、今の被災地のようにも何もかも失いました。しかし次第に失ったものを得たい気持ち湧いてくるもので、住むところを求め、家を確保したら、今度は着るものが欲しくなりま。そして衣服が揃うともっといいものを・・・とだんだん欲望が募っていく。結果、昔以上の生活をするようになった日本人は、目に見えるモノやお金などばかりに心が向いてしまいました。そのことを今、反省する機会が与えられたようにも思います。本当は、目に見えないものが人間にとって一番大切なのです。心、神、仏・・・この目に見えないものによって世の中は動かされているから、地球と太陽がぶつからないし、私たちは生きていくことができる。改めて、目に見えないものに畏れを持たなければいけないと自戒をこめて思います。

今は、原点に返って考えるべきときなのかもしれない。原発の構造がどうなっているのか、どうして必要なのか、代わるものはほかにないのか、よその国はどうしているのか・・・。次の時代を築く子供たちがしっかりと生きていくためには、改めて大人たちが勉強し直す必要があるのではないだろうか。

避難所の子供ばかりをグラフィアで取り上げた週刊誌がありました。子供って無邪気ですから、そんな悲惨な中にも笑顔がある。やっぱり子供が頼り。未来を背負うのはこの子たちです。子供が無事に育っていったら、しっかり勉強ができる世の中を今の私たちは残していかなければならない。それはわれわれ大人の義務でしょうね。

心に迷いが生じたとき、私は『一遍上人語録』を読み返します。踊念仏で全国を遊行し、陽気に「南無阿弥陀仏」を広めた一遍は「捨ててこそ」の思想を実践した人物です。

捨てると言っても、今話題の断捨離とは異なり、たとえば好きな人がいるのに振り向いてくれない場合、そのことばかり考えていたらいつまでも

気分がすぐれませんが、一つの思いにすがっている人は情けなくなるので、その思いを捨てる必要があるということだと思います。

災害にあつた人も辛い持ちをなんとか捨てて、新しく出直すしかないと思います。忘れてもいいんです。戦争だってあの悲惨さを覚えていたらとても生きてはいけません。人間は辛い気持ちを忘れるから生きていけるのです。

親が死んだり、子供が死んだり、とても悲しいときは、身も世もなく嘆くけれど、一週間泣き通しているかというところでもありません。一ヶ月経って気がついたら、「ああ、今日は少し忘れていた」と悲しみは薄らいでいきます。一年経って、一年前と同じ気持ちのままということはない。忘れるなど言っただけで忘れるんです。それは薄情なのではなくて忘却は神が仏が与えてくれた恩恵なのです。過去のことを嘆いても、前に進めません。数十年前、五番目のお見合いの相手を配偶者にしたけれど、もし二番目だったら・・・と考えても後の祭り。だからといって未来にばかり思いを馳せればいいわけでもない。「明日も地震来るかな？」と心配しようが、来るときは来るのであって、防ぎようがありませんから。お釈迦様は「過去のことをよくよするな、未来のことを思い煩うな」とおっしゃいました。過去を追わず、未来に願わない。私たちは、今を生きているしかないんです。今の一瞬一瞬に心をこめて、真剣に生きていく。今日自分は何をすればいいかを考えて実践する。確かに「大丈夫ですか？」とメールを打つてもいい。わずかでいいから義援金を出すのもいい。それが私たちにできることではないでしょうか。

そのうえで、少なくとも気持ちは暗くなりつ放しではいけません。不幸はいつもお通夜帰りのような暗い顔をしている人が好きで寄ってきます。こういうときに必要なのは、笑顔。笑ってるところには明るい運命が訪れます。

家族や仲間といるときはなるべく笑うようにしましょう。今笑うことは決して不謹慎じゃありません。お花見だってお酒を飲んで騒ぐのは遠慮すべきですが、花を見て心が慰められるのであれば、私はやればよいと思います。夜空を見上げて暗闇に光る

星に希望を見出してもいいし、自分が勇気づけられたり、幸福な気持ちになることを求めてやるべきです。自分が幸福でないかぎり、周囲を幸福にすることはできません。

花といえば、私は体を壊してから家にばかりいるので、庭の梅に蕾がついていることや、それが一日ごとに膨らんでいることに敏感に気づくようになりました。そのことをみんなに報告したら、「忙しくて梅の花をしみじみ眺めたこともなかったんですね!」と笑われました。震災で経験した通り、自然は恐ろしい脅威を与えます。しかし同時に、無限の慰めも与えてくれるのです。

すべては無常。同じ状態は続きません。雨が降り続けることはないので。

花が咲いていること。花に色がついていること。どうしていちいちそれらにびっくりして、心洗われる気分になるのでしょうか。それは移り変わりがあからずくです。私は九〇年近く生きてきて、つくづくすべては無常だと悟りました。無常とは悪い意味ではなく、常がない、つまり同じ状態は続かないということ。花は咲いて散って枯れるし、人は生まれて老いて死ぬ。そして雨が二ヶ月降り続けることはないのです。

今の日本は、おそらく未曾有のどん底に落ちているのです。でも世は無常なのだから、ずっとこのままということはありません。どん底の下はない。だからこれからは上がっていくだけ。どんなに辛くても桜は咲き、春はやってくるのです。そう考えましょう。そう信じないと、私たちは今日という日を笑えないじゃないですか。

PRESIDENTに掲載された瀬戸内寂聴さんの文章より抜粋いたしました。

悟りを開いた寂聴さんのように思えるには被災者の皆さんはもろろ私たちにまだまだ時間が必要ですが、少し見方を変えることができそうです。皆さんはどうでしょうか?

発行

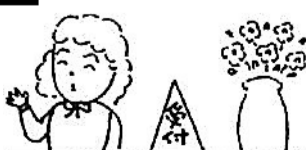
新築・建替え・リフォーム・増改築のことなら

栃井建設工業株式会社

岐阜市河渡3丁目138番地

0120-520-523

ISO9001 認証取得



お貸しします

常設モデルハウス

住所：岐阜市富沢町 33-3

広さ：2階ビル型（15人程度）

社屋2階会議室

住所：岐阜市河渡3丁目138番地

広さ：33帖（30人程度・イスあり）

都合によりお貸しできない場合もありますのでご了承ください。お問い合わせは、総務栃井まで。

第4回夏の木工教室 開催しました

8月7日に恒例の木工教室を開催いたしました。30組以上150余人のお客様に来ていただき、本当にありがとうございました。今回は初めて「丸太切り大会」を開催しました。自由参加でお父さんやお母さん男女小学生さんにも参加していただき、大人の部小学生の部で時間で優勝を争っていただきました。参加していただいた皆様大変暑い中ありがとうございました。

毎年内容を充実させて、来場者の方に楽しんでいただくことはもちろん、自分たちがまず楽しもうという目標で臨みました。開場と共にどっとお客様に来ていただき、子どもさんたちの歓声や、親子で話し合っ、作品を作り上げる姿、なれない手つきでトンカチを使う息子さんを、心配そうに覗き込んでいるお父さんお母さんの姿、子どもさんと一緒に作品をサンドペーパーで仕上げのお父さんの姿、どれも微笑ましく、楽しそうでした。来年は、もっとバージョンアップして、楽しんでいただけるようにしたいと思っています。何かご意見があったら、お聞かせください。



〔ふーせんつり〕



〔丸太切り大会〕

ガラスアート教室 9月21日(水) 午後1時30分~3時 会場：栃井建設工業(株)2階

特殊なフィルムとリード線(鉛)を使ってスタンドグラス風に仕上げます。スタンドグラスを手軽に楽しめる全く新しいクラフトです。小学生からお年寄りまで楽しめます。木工教室でも今年初めて取り組みましたが、「思ったより簡単ですね」とご意見をいただきました。今回はティッシュボックスに挑戦してみます。参加費用はボックスが2,000円ポケットティッシュボックス1,200円です。申し込みは、総務栃井まで。締切は15日まで。



ティッシュボックス



ポケットティッシュボックス

栃井建設の定期点検サービス

弊社では、新築されたお客様にいつまでも快適に過ごしていただく為に、定期点検を実施しております。従来は3ヵ月後、1年後、2年後に工事担当者がお客様の都合をお聞きして伺うことになっておりましたが、「10年の住宅瑕疵保証」を具現化する一環として2年目以降の定期点検を制度化しました。2.5年・5年・7.5年・10年の4回にわたり、「点検のプロ」(外部委託)と一緒にお客様の大切な住まいをチェックし今まで以上の「安心」をお届けします。

富沢モデル見学会 〈木でつくる丈夫な家〉

日時：平成23年10月2日(日)
午前10時~午後5時

会場：岐阜市富沢町33-3

詳細：木造3階建て。ホームエレベーター付

1階は柱のないガレージ

2階はキッチン・リビング・洗面浴室・トイレ

3階は寝室・フリールーム(将来は子供部屋に可)・トイレ・お気に入りのロフト付

車椅子をご用意しております。

屋根には太陽光発電設置。オール電化住宅。

イベント：「開運よもやま話」1時30分~3時

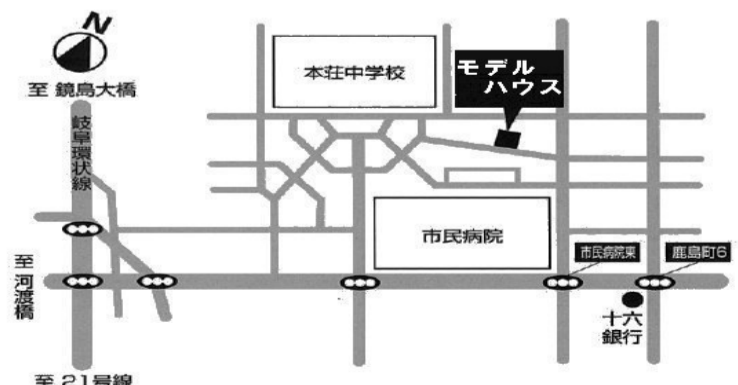
建築士でありながら家相の重要性に魅かれ「易経」の世界に入り自然宇宙との調和を家相の中に求めるようになった大田昌和先生による〔おもしろおかしい〕ためになるお話です。

：「個別相談会」3時~5時約6組 予約受付中。

参加は無料！！

運気のつかみ方・平成24年の貴方の運勢は？・家相の見方！・名前のつけ方・建物はいつ建てたらよいか？など何でもご相談ください。

ご予約は担当渡邊まで。



栃井建設工業(株)ホームページ <http://www.totii.co.jp>

栃井建設の家は全棟完成保証付

どんな小さなことでもお気軽にご相談下さい。当社は、お客様満足度地域1を目指しています。



ISO 認証取得